

がアニアシ近所 援支家事者高齢

有償1人暮らし対象

徳島市のNPO サービス開始

徳島市のNPO法人・壮生は、1人暮らしの高齢者宅の家事や買い物支援などの要望に近隣に住む高齢者が応じる有償サービスを今月から始めた。サービス依頼者、提供者とも壮生が運営する「サポート壮生」に会員登録し、事務局がマッチングを図る仕組み。現時点でサービスを提供できるのは同市昭和町や万代町など7地区で、会員を増やして対象地区を広げたい考え。

家事支援サービスの申し込み、事務局が依頼者、提供者はサポート依頼者の居住地やサポート壮生への会員登録の内容に応じて提供が必要で、入会金800円を派遣する。利用料0円と年会費1200円は、掃除・洗濯、庭木の手入れ、電器部品の交換、障子・網戸の張

市中心部7地区で提供

り替えが1時間700円。買い物同行や公的手続きの代行、通院の送迎が同800円。超過料金は10分ごとに100円となっている。同様の事業はシルバー人材センターで行われているが、NPO法

者らにアンケート調査。「足腰が弱って荷物の持ち運びに苦労している」など、家事支援を求める声が相次いだため、シニア世代の共生に向けて支援サービス事業に取り組むことにした。

ただ会員登録して(土井良典)

県内観光客355万人 6.3%増

15カ所 外国人の伸びなど要因

16年度

2016年度に徳島の森総合公園は26・8%増で、過去最多の109万7071人が来年度比6・3%増の355万3621人と3このほか、伸びが目

に文化の森総合公園、地客数(各15カ所)は8位に渦の道、10位に香川が0・7%増の475万4367人、愛媛が6・2%増の413万6754人、高知

鳴門の渦潮 切手でPR

あす 世界遺産へ機運盛り上げ



日本郵便四国支社(松山市)は14日かは、鳴門市うずしお観定。県内では徳島中央郵便局など201局

の登記に基づいた減額せずに14年に原告ら「居住用部分も含めてきた」と指摘した結果、25川畑裁判長上の情報だけ適用がないと課税に当た

裁判員裁判の 仕組み学ぼう

徳島地裁は8月9日、小学5、6年生を対象に「裁判所サマーツアー2017体験！裁判員裁判！」を開く。模擬裁判を通じて裁判員裁判の仕組みを知ってもらうのが狙いで、参加者募

地裁で来月9日 参加児童書

進行を体験する。裁判官への質問コーナーや法廷見学もあり、法服を着て記念撮影ができる。

定員60人。はがきに氏名、学年、住所や保護者の連絡先などの必要事項を記入し、徳島地裁総務課「裁判所サマーツアー」係に郵送する。21日締め切り(当日消印有効)、応募多数の